

いおくニュース

2016年6月号



■プロフィール■

猪奥美里 (いおく みさと)
1980年奈良市秋篠町生まれ
平城小学校・平城中学校／ドイツギムナジウムジーク留学／奈良大学附属高等学校／立命館大学・立命館大学大学院(環境経済学専攻)／衆議院議員秘書
2011年奈良県議会議員初当選
2015年4月12日2期目当選

◆ 厚生委員会

観光振興対策特別委員会所属
.....

■友人の白血病発症

同じ年の友人が急性白血病になりました。あまりにも疲れやすいと思い、病院に行ってみると、すぐ入院。骨髄移植が必要で、厳しい抗がん剤治療を受けながら、型の合うドナーさんを待っています。

恥ずかしながら、身近な人が病気になるって初めて、近鉄奈良駅の献血センターへと骨髄バンクの登録へと向かいました。骨髄バンク登録は、用紙の記入と、少しの採血。ほんの20分程度の短い時間で済みました。

■白血病の現状

今、日本では1年間で約1万人もの人が白血病などの重い血液の病気と診断されています。そのうち骨髄バンクを介した移植を必要とする患者さんは約2300人。正常に血液を作れなくなった患者の方にドナーから採種した健康な造血幹細胞を移植することで、正常な血液を作る力を回復させることができます。

現在、骨髄バンクへのドナー提供者の登録数は46万人を超えており、奈良県では2,535人が登録しています。

まず移植の際には、患者とドナーのHLA型と言われる白血球の型を合わせる必要があります。しかしながら、HLA型の種類は数万通りにもおよび、マッチングは困難を極めます。遺伝的に両親から受け継がれる性格から、近親者は比較的適合しやすいものの、血縁関係にない他人との適合に至っては数百～数万分の1と途方もない確率になります。マッチングを叶え移植に至るにはドナー登録者を増やすほかありません。また、移植を受ける際にも課題があり、これらのハードルを下げる必要があります。

■マッチングの課題: ドナー登録者を増やす

奈良県の登録者数2,535人を人口比で見れば全国で46位。下から数えて2番目です。1位は沖縄県の22,366人であり、

最大の要因は行政とボランティアと血液センターの連携が具現化されていることです。

血液センターが献血車で献血を行う際にドナー登録を並行して行うわけですが、沖縄県で年間約900回に対して、奈良県はわずか年間30回ほどにとどまっています。この圧倒的な取り組みの差が登録者数に顕著に表れています。さらには、血液センターでの取り組みにも至ります。昨年度は、県主催の登録会(13回)で104人、県内全体で181人の登録がありました。うち約80人が郡山の赤十字接液センターもしくは駅周辺の献血ルームでの登録ですが、献血者への周知が十分に行われているとは言えません。

■移植の課題: 提供者への支援

骨髄バンクに登録している患者のうち、実際に移植に至るケースは6割程度にとどまっています。その要因は、最終合意ののちドナー登録者が実際に骨髄採取し提供する際、5～7日間程度の通院や入院を必要とし、家族や職場の理解と協力が不可欠なためです。役所や大手企業などではドナー休暇制度が整備されているものの、中小企業や自営業者、育児や介護をしている方にとっては休むことで経済的な負担に直結するなどの事情を抱えています。問題を解消するには、奈良県として骨髄移植ドナー支援

5月スケジュール

- 1日(日)支持者面談
- 2日(月)天平祭ボランティア事前準備
- 3日(火)天平祭ボランティア事前準備
- 4日(水)支持者面談
- 5日(木)支持者面談
- 6日(金)休み
- 7日(土)休み
- 8日(日)ハウス食品歩こう会
- 9日(月)事務所会議、連合奈良の日
- 10日(火)弥津藤会
- 11日(水)連合奈良との政策協議
- 12日(木)民進党参議院選挙マニフェストに関する全国政策担当者ウェブ会議
- 13日(金)平城地区歓送迎会
- 14日(土)民進党奈良県総支部連合会結成大会、
- 15日(日)立命館大学奈良県北部校友会総会
- 16日(月)民進党全国青年大会@横浜、民進党自治体議員フォーラム@東京
- 17日(火)民進党自治体議員フォーラム@東京
- 18日(水)ニュース印刷
- 19日(木)県庁打ち合わせ
- 20日(金)JC 地域防災研修会
- 21日(土)連合奈良地域フォーラム
- 22日(日)奈良県消防操法大会に伴う訓練始め式
- 23日(月)全国自治体議員政策ネットワーク勉強会@沖縄
- 24日(火)全国自治体議員政策ネットワーク勉強会@沖縄
- 25日(水)沖縄県連手伝い
- 26日(木)土地家屋調査士政治連盟総会懇親会
- 27日(金)ドットジェイピー学生インターンシップ打ち合わせ
- 28日(土)参議院選挙勝利大決起集会
- 29日(日)西大寺女性防災クラブ総会、民進党街宣活動
- 30日(月)東大寺第 222 世別当晋山式
- 31日(火)休み

〒631-0817

奈良市西大寺北町1丁目1-16

岡本ビル103号

TEL 0742-53-1093 FAX 0742-53-1094

メール info@ioku.jp

ブログ <http://ameblo.jp/1093310/>

ホームページ <http://ioku.jp/>

↑過去のニュースはこちらをご覧ください

事業助成金の設置が必要だと考えます。

平成23年の新潟県加茂市での導入を皮切りに100以上の市町村で導入され、ドナーにとって経済的な支援となると同時に、行政が後押ししてくれることも大きな励ましとなっています。全国では埼玉県のみが、すべての市町でこの助成制度を設けています。埼玉県を含む8府県に至っては、ドナー助成を行っている市町村に対して県からの助成を実施しています。一方奈良県内では、橿原市のみで行われているにすぎません。

移植で救われる命がある。しかしマッチングは難しい。まずはドナー登録の数を増やすこと。そして、運よくマッチングが叶った骨髄をドナーの思いとともに患者の方へしっかりと届けたい。一つでもハードルを下げるため、ドナー助成金の新設を求めてまいります。